

心の ともしび



暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう

真っ直ぐな心を

たけうち おさむ
竹内修一 神父

世の中には、いわゆる声の大きな人がいます。しかしその一方で、なかなか自分の思いや意見を表に出せない人もいます。ここで思い起こしたいのは、ただ単に気が小さいとか内向的といった人ではなく、そもそも社会的立場の弱い人のことです。

そのような人が、今、何を思い、何に悩み、何に苦しんでいるのか——そのようなことに思いを馳せることは、時には、自分の意見を述べることよりも大切な場合があります。そのような時に求められること——それが、思いやりであり想像力ではないか、と思います。その人の奥深くに秘められた言葉にならない言葉を聴くこと、それこそが大切なのではないのでしょうか。

そのためにも、私たちは、真っ直ぐな心を整えなければなりません。そのことを可能にしてくれるもの——それが、良心です。

良心は、何が正しくてそうでないか、

といった単なる判断能力ではありません。良心について教会は、次のように語ります。「良心は人間のもっとも秘められた中心であり聖所であって、そこで人間は独り神とともにあり、神の声が人間の内奥で響く」（「現代世界憲章」16）

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」（マタイ7・12）。これは、聖書が語る黄金律ですが、この場合の「してもらいたいこと」とは、単なる個人的なことではありません。むしろそれは、人間として大切なことです。そのことを深く理解するためにも、私たちは、良心に囁きかける静かな声に耳を傾け、それに従います。それが可能になる時、きつと私たちは、パウロと共に次のように語ることができるでしょう。「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ローマ12・15）

その時、真の平和が生まれます。



ホームページ (<https://www.tomoshibi.or.jp>)



【心のともしび運動 ご支援のお願い】

心のともしび運動は、世界の平和と一人ひとりの真の幸せを願って、ラジオ、機関紙、インターネットを通じて神の言葉を伝えています。この活動は、すべて援助会員の皆様からの献金によって運営されています。人として人のために生きる力の泉となる神の言葉を一人でも多くの方に伝えられるよう、ぜひ、援助会員になってご支援くださいますようお願い申し上げます。

住所、氏名を下記までお知らせください。申し込み用紙をお送りさせていただきます。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 心のともしび運動YBU本部（電話：075-211-9341 FAX：075-211-9343）